

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：(A組：青木) (B組：今里) (C組：今里) (D組：青木) (E組：杏掛) (F組：今里) (G組：杏掛) (H組：青木)

使用教科書：(高等学校 現代の国語 (第一学習社))

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】基礎的言語能力(読む・書く・話す・聞く)およびコミュニケーション技能・能力の習得および向上
- 【思考力、判断力、表現力等】文章の種類を問わず、書き手の意図を的確に把握する力、および自分の考えを適切に表現する力の育成
- 【学びに向かう力、人間性等】自ら教科書以外の文章に多く触れていく姿勢の育成/他者に対する共感力や感受性の育成・向上

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・漢字や語句など語彙力の向上 ・論理的な文章や実用的な文章に数多く触れることで基礎的な読解力を向上させる ・「書く・話す・聞く」など言語表現にかかわる技能の向上	・論理的な文章の構造を把握し、論理や文意を適切に把握する力 ・問われているテーマについて自分の考えを持ち、それを適切に表現できる力、および聞く力	・日常的に自分たちが触れているものよりも長め、難しめの文章を意図的に読んでいこうとする姿勢 ・扱われているテーマについて自らより深く知り、考えていける力

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学 期	単元 理解編 【知識及び技能】 対比関係を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報との関係を理解する。	・指導事項 比較文化/段落構成と論理構造 ・教材 『水の東西』 ・一人1台端末の活用 等 振り返りシートやノート 端末の活用	○	○	○		・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・東洋(日本)と西洋の文化における比較を行い、まとめ発表する。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1	
	単元 理解編 【知識及び技能】 情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	・指導事項 自己と他者/段落構成と論理構造 ・教材 『「本当の自分」幻想』 ・一人1台端末の活用 等 振り返りシートやノート 端末の活用	○	○	○		・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。	○	○	○	8
	単元 表現編 【知識及び技能】 情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 スピーチの方法を理解し実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。	・指導事項 話して伝える ・教材 「スピーチで自分を伝える」 ・一人1台端末の活用 等 振り返りシートやノート 端末の活用		○	○		・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。		○	○	8
定期考査							○	○		1	
2 学 期	単元 表現編 【知識及び技能】 他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スピーチを行いそれを傾聴する。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメートのスピーチを傾聴する。	・指導事項 話して伝える/傾聴スキル ・教材 「ビブリオバトル」 ・一人1台端末の活用 等 振り返りシートやノート 端末の活用	○	○			・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・学んだことを学校生活の他の場面でも生かそうとしている。	○	○	○	10
	単元 理解編 【知識及び技能】 比喩などの修辞を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 解釈した内容を工夫してまとめ、積極的に紹介文を書こうとしている。	・指導事項 思考力・想像力を養う/場面の展開のまとめ/行動や心理の把握 ・教材 『夢十夜』 ・一人1台端末の活用 等 振り返りシートやノート 端末の活用	○	○	○		・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査							○	○		1
	単元 理解編 【知識及び技能】 情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿ってまとめようとしている。	・指導事項 情報・メディア/段落構成と論理構造 ・教材 『現代の「世論調査」』 ・一人1台端末の活用 等 振り返りシートやノート 端末の活用	○	○	○		・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	○	○	○	7
定期考査							○	○		1	
	単元 理解編 【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	・指導事項 時間と近代/段落構成と論理構造/対比の方法 ・教材 「不均等な時間」 ・一人1台端末の活用 等 振り返りシートやノート 端末の活用	○	○			・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に沿ってまとめ発表する。	○	○	○	6

3 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。				題に従って要旨をまとめようとしている。				
	単元 表現編 【知識及び技能】 話し合いの進め方のルールを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 論点を共有したり考えを広げたり深めたりしながら話し合いの実践を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 合意形成の話し合いについて関心を持つ。 定期考査	・指導事項 話して伝える／資料作成 ・教材 「ディベート」 ・一人1台端末の活用 等 振り返りシートやノート 端末の活用	○	○	・目的や意図に応じて適切な題材を決め、情報の妥当性や信頼性を吟味して内容を明確にできる。 ・写真や資料を効果的に用いるなど、相手の理解を得られるように表現を工夫する方法を学ぶ ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。	○	○	○	10
						○	○		1 合計 70